

平成29年8月

平成29年度(春季) 小浜市議会報告会

行政回答書

〈 目 次 〉

宮川地区	P 1 ~ P 7
今富地区	P 8 ~ P 10
内外海地区	P 11 ~ P 12
国富地区	P 13 ~ P 14
加斗地区	P 15
雲浜地区	P 16 ~ P 19
西津地区	P 20
小浜地区	P 21 ~ P 26
中名田地区	P 27 ~ P 29
遠敷地区	P 30 ~ P 31
口名田地区	P 32 ~ P 36
松永地区	P 37 ~ P 42

宮 川 地 区

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【宮川地区】 P 2

質問	子どもの遊ばせる場がない。公園の整備できないのか。
議員回答	都市計画法の中では公園の緑地は決められていますが、その地区によって状況が異なります。皆さんにご意見を伺い、なぜ帰ってこられないのかアンケートを取ってはということも含め行政に伝えていきたいと思えます。
行政側回答	都市整備課 都市公園は、都市計画法において都市計画区域内に設置される公園として定義されています。 宮川地区の公園整備につきましては、既存の農村公園の利活用方策をご提案いただいた中で検討いたしたい。

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【宮川地区】 P2

質問	<p>なぜ帰ってこないのかという理由や、まちづくりについて、いったん都会に出た方の感覚を知り、そういう方の意見も吸い上げるべきでは。</p>
議員回答	<p>なぜ帰ってこられないかアンケートを取ってはということも含め行政に伝えていきたいと思います。</p>
行政側回答	<p>人口増未来創造課</p> <p>平成27年度の小浜市総合戦略の策定に先立ち、成人式の参加者へのアンケート調査や転入転出者アンケート調査を実施しました。</p> <p>成人式アンケートの結果では、交通の利便性向上や遊ぶところがないなどの意見が多いほか、働く場所・仕事を求める意見が多数ありました。</p> <p>また、転入転出者アンケートの結果においても、転入転出のきっかけは仕事の都合によることが多数を占めています。</p> <p>当時の調査期間は、移動の多い3月～4月としていたことから回答に偏りが生じたことも考えられることから、現在、年間通じて転入転出者のアンケート調査を実施しています。</p> <p>まだ調査中ということもあり、現在まだ取りまとめは行っておりませんが、調査期間終了後速やかに結果の取りまとめ・分析を行い、施策に反映させてまいりたいと考えていますので、ご理解よろしく申し上げます。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【宮川地区】 P 2

質問	<p>安全な避難場所の確保が必要ではないか。 例えば、加茂神社の社務所は土砂災害のイエローゾーンに指定されていて建物は古い、歩いて避難できるところに安心して避難できる場所が近くにはないと、安心して暮らせないのでは。</p>
議員回答	<p>市の指定避難所は公共施設というのが第1になり、地域の中では、例えば神社とか高台が指定されている。行政に伝え協議していく。</p>
行政側回答	<p>生活安全課</p> <p>市が指定している避難所は、風水害や地震時でも使用できるコンクリート造りの堅固な構造の建物を指定しています。</p> <p>宮川地区では、宮川小学校と公民館の2ヵ所を指定しており、加茂神社は、市の指定した避難所とはなっていないことから、市では早めの避難情報を発信していきますので、「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された場合には、早い段階での指定避難所への避難を心がけていただきたいと思います。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【宮川地区】 P.3

質問	<p>小浜市は、交通安全の意見を公募されたが、パブリックコメントを書いた人に返答しないのが疑問。内容は認知症の人が車を運転していて、家族が言ってもやめてくれない状況の中で、介護タクシーまで利用しなくても簡単に使えるものが必要という意見を書いたが、記名でメールを送った本人に返答してほしい。</p>
議員回答	<p>それは確認をいたしましてお答えいたします。</p>
行政側回答	<p>生活安全課</p> <p>パブリックコメントで頂戴したご意見につきましては、制度のルール上、個別の回答は行わないこととなっておりますことから、直接ご本人に返答することは差し控えさせていただき、ホームページにおいて公表したところでございますので、ご理解賜りますよう、お願いいたします。</p>

小浜市議会報告会

質問、要望に対する回答 【宮川地区】 P4

質問	<ul style="list-style-type: none"> ・宮川地区では小学校が31年に廃校になってしまう。その廃校跡利活用について宮川小学校を拠点としてまちづくりを進めたいと思っています。総務省の僻地対策事業というのを今年申し込んでみたが、だめで夢が途切れてしまっている状態ですので、市議会のほうからもご支援をよろしくお願ひしたい。 ・宮川地区は2年前から検討会を進めている。アンケート結果を各集落に持って行って評価して、建築家の先生にもみていただき勉強会もして、耐震も行い可能な活動はどのようなものかまで方向性はでている。市の方針が出ないので足踏みしている状態。
議員回答	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会としては、廃校になった31年の4月以降に公民館をその小学校内に持ってく案も地域の皆さん方と相談して方向性を出すと聞いているので確かめまして報告します。 ・皆さんの声をお伝えし、方針を確認します。
行政側回答	<p>人口増未来創造課</p> <p>学校施設については、基本的に敷地面積や建物が大きく、一括利用が困難であることや校舎の耐用年数が迫っていることなど、利活用に向けた課題が多くあるのが現状となっています。</p> <p>市では、耐用年数が経過した施設は、安全性の観点から公共施設としての利用を控えている一方で、地域の活性化に向け、地域住民に対しスポット的な利用を許可しているのが現状であり、また、施設の処分方法も解体のほか、民間への売却、活用なども視野に入れた検討が必要であると考えています。</p> <p>学校施設は、地区のシンボリックな施設でもあるため、地区が描くビジョンなどを踏まえた中で、新たに生まれる土地や建物などの利活用について十分に検討する必要があると思われまます。</p> <p>施設の今後のあり方については、地区と十分に協議していきたいと思ひますので、ご理解よろしくお願ひします。</p> <p>また、今年度、宮川まちづくり協議会を母体として総務省の過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業の申請を行ったところです。</p> <p>この事業は、国が進めている「小さな拠点」の形成に結びつく事業で、地域の中心集落に福祉や教育などの機能を集約し、生活圏を形成するもので、“まほろばの里・若狭みやがわ”地域協働型まちづくり事業として申請いたしました。</p> <p>全国各地で様々な取り組みがされている中、今年度は惜しくも採択には至らなかったものの、取り組みの方向性等は高く評価されていることから、来年度の採択に向け、情報を共有しながら提案内容のさらなる研きあげに取組んでいただきますよう、よろしくお願ひいたします。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【宮川地区】 P4

質問	<p>スクールバスに乗るまで長い距離歩きバスに長時間乗り家を出てから美郷小学校まで1時間30分となると、子供のいる家は宮川に住まなくなるのでは。</p> <p>通学時間も含めて検討されているのか、また雨にぬれないようなバス停を市にお願いしたい。</p>
議員回答	<p>農道から県道を回るというルートになっていると聞いている。家の前まで迎えに来てほしいという意見もあるが、ある程度は歩くことも必要という意見もある。今までとは違う形での通学になってくると思う。市の動きや市民の方の要望を伝えながら協議していけるようにしていきたい。</p>
行政側回答	<p>教育総務課</p> <p>宮川地区におけるスクールバス通学については、県道本保平野線および市道宮川環状線を利用する周回経路にて計画しています。</p> <p>宮川地区での通学状況は区により異なりますが、乗降場所までの距離については約0.1km～約1.3kmとなり、通学時間については25分～45分程度になると見込んでいます。</p> <p>乗降場所については、待機可能な場所の確保や乗降時の安全性を重視し、教員やPTA代表などで組織する開校準備委員会通学部会において協議を行い、決定した経緯があります。</p> <p>また、部会では、バス停の設置についても協議を行ってきましたが、開校時には雨にぬれないようなバス停の設置は行わないこととしましたので、ご理解をお願いします。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【宮川地区】 P 4

質問	市内の活動事例で西津とか中名田が県外の防災関係施設を視察されているというのは補助金を使って行っているのか。
議員回答	西津地区、中名田地区について、補助金で行かれたかどうかは確認して調べておきます。
行政側回答	<p>生活安全課</p> <p>県外の防災センターや広域避難先の視察に行かれた際、バス借り上げ料の一部について、「自主防災組織等活動支援事業補助金」を活用いただきました。</p> <p>この事業の補助率は、事業費の1/2で、補助金の上限額は、自主防災組織の世帯数に応じ3万円から8万円となっております。</p> <p>なお、他の補助事業を利用されている場合は、併用することができませんのでご注意ください。</p>

今 富 地 区

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【今富地区】 P 7

質問	<p>若狭歴史博物館の横の公園ですが、樹木も大きく育ち公園らしくなったという感じを受けるが、奥のかやぶき屋根の古民家は、中から腐り始めているような荒れた状態。その点について考えを伺う。</p>
議員回答	<p>遠敷の若狭歴史博物館の公園のところの奥にある古民家は県の所有になっています。産業教育常任委員会で「公園、歴史民俗博物館に多くの来訪者があるのに、県に対してしっかり要望していないのは市の対応が悪い」と質疑があり、5月に今後の方針を立てる話を県と行うという事なので結果はご報告します。</p>
行政側回答	<p>都市整備課</p> <p>若狭歴史博物館横の若狭の里公園の古民家は、ご指摘のように一部屋根が朽ち始めている状態で、現在閉鎖しています。</p> <p>6月に所有者である福井県の担当者と現地確認をしました。</p> <p>現古民家を改修しての新たな活用、あるいは取り壊して規模を縮小した休憩施設の新築については、いずれも多額の費用がかかることや古民家を寄贈された経緯などを調査しながら、慎重に検討いたしたい。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【今富地区】 P 7

質問	<p>高成寺裏の浜辺の海沿いにある岩場の橋が腐食したのか欠けており、その隣の浜まで行けないが復旧する予定はあるのか。</p>
議員回答	<p>高成寺裏の件は真珠浜のことだと思いますが、橋を復旧するようにしっかりと担当部局に確認して対応させていただきます</p>
行政側回答	<p>商工観光課</p> <p>真珠浜の一の浜、二の浜、三の浜を相互に行き来できるよう平成元年に遊歩道を設置いたしましたが、波浪により、橋が無くなっております。</p> <p>遊歩道設置当時、一の浜では海水浴場を設置しておりましたが、浜茶屋が出店しなくなったことから海水浴場の指定をやめており、それぞれの浜をつなぐ以前の遊歩道は、今年度中に立入禁止の柵を設けて通行止めとし、安全対策を図ります。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【今富地区】 P 9

質問	<p>湯岡橋の歩道は柵が低く大変危険。小中学校の通学路になっているため国へ要望事項として上げていただきたい。</p> <p>まちづくり交付金事業が29年で終わるということを聞いたが、まだ整備出来ていないところがある。引き継ぎ交付金事業があるのか教えていただきたい。</p>
議員回答	<p>担当部局から湯岡橋の件は国へ強く要望していきますという答えでしたが、引き続き強く国へ一層強く働きかけるよう要望しておきます。</p> <p>その社会資本整備のことにつきましては、それも引き続き対応できるように担当部局に伝えておきます。</p>
行政側回答	<p>都市整備課</p> <p>現在も市の重要要望として、歩道の拡幅を要望しているところですが、引き続き、要望してまいります。</p> <p>また、本年の降雪時に歩道橋の路面が圧雪により高くなり、柵が本来の高さが確保できなかったことについても、国に伝えており、対応を考えて頂いております。</p> <p>今富地区で行っております、まちづくり交付金事業については、29年度で終了します。</p> <p>今後、補助事業により道路整備を行うには、社会資本整備事業等により取り組む必要がありますが、現在行っているような工事内容では、事業採択は困難であると考えられます。</p> <p>補助事業での取組ができない場合、市の単独事業となるため、地区としても優先度を定め、必要箇所の精査をお願いしたいと考えます。</p>

内 外 海 地 区

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【内外海地区】 P12

質問	環境対策として、市町村CO ₂ の削減という事業をされているところがあるが、地域の街路灯をLED化する事業はないのか。
議員回答	ごみの焼却はかなり研究を重ねて、CO ₂ の削減になっており、環境基本計画を立てる中でもCO ₂ の削減はごみの減量化で取り組んでいる。現在新しく設置する防犯灯はLED化になっているが、交換はしていないと聞いている。ご意見として担当課のほうに伝えて、回答いたします。
行政側回答	<p>都市整備課</p> <p>小浜市における防犯灯に関する事業については、現在も各区から多くの新規設置の要望をいただいております。防犯灯が必要とされる箇所の中より、安全性確保を優先し行っています。平成25年以降の新設防犯灯はすべてLEDを採用しています。</p> <p>既設防犯灯のLED化への助成等については、市内全域での安全確保にほぼ目途がついた時点での開始を目標に検討してまいります。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【内外海地区】 P12

質問	<p>小浜市では自転車で右側通行される方を見受けますが、自転車は系車両で左側通行するのが普通だと思います。都会では自転車ナビマークという車道の左側に自転車の絵を描いて矢印がしてあるものが整備されてるが、自転車ナビマークを整備する予定はありますか。</p>
議員回答	<p>生活安全課のほうで確認をして、回答します。</p>
行政側回答	<p>都市整備課</p> <p>現在ある市道においては、道路路肩は最低限の幅のみ確保していることから、現在のところナビマーク整備の予定はありません。</p> <p>福井県では、学校周辺で通学に利用されている道路において、道路構造的に、可能な場合に設置を計画していると聞いています。</p> <p>(生活安全課)</p> <p>自転車ナビマークとは異なりますが、公安委員会が設置するものに、法定の自転車専用通行帯があります。</p> <p>こちらについて、公安委員会に問い合わせたところ、整備予定はないとのことでしたので、ご理解ご了承いただければと思います。</p>

国 富 地 区

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【国富地区】 P15

質問	<p>今年の大雪は除雪作業に3日程要したと思うが、現在でもオペレーター等が減少傾向の中で、市道と県道を行政間で調整等出来ないものか、同種の案等ないのか。</p>
議員回答	<p>オペレーター不足はご指摘の通りで、除雪車両とのバランスは決して良いとは言えず、今後の課題として我々も行政側も問題意識をもっており、改善策を探っていく。</p> <p>行政間での相互調整は市内で一部特例的に道路条件を勘案し、市道と県道を相互間調整する事例はあるが基本的に常時調整することは想定されていないのが実情で、それぞれの除雪エリア内の実施予算や、除雪路線設定率が100%でなく様々な障害がある。原則論に限定されず臨機応変な対応は必要で指摘の通りであると認識しており、執行側に対応を求めている。</p>
行政側回答	<p>都市整備課</p> <p>議員回答のとおり、一部市道と県道区間を調整し、除雪を行っている区間はあります。</p> <p>しかしながら、非常時における、市と県の除雪協力体制については、使用している機械の大きさ・種類（県所有機械は大型が多く、狭い市道の除雪に向かない車両が多い）や、除雪契約における条件（事故時等の補償関係など）もあることから、なかなか、難しい状況です。また、今年のような雪の状態では、物流の確保が大切であることから、県管理道路の除雪が優先されます。</p> <p>今後、県と協力できる方策など協議を行っていきます。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【国富地区】 P15

質問	<p>農業集落排水事業の使用料について、今回料金改定で値上げとなるが、過去の借入に対しての返済等を料金に反映していると思うが、今後人口減少で大変厳しい状況と聞く、過去の高金利を借り換えすることで改善等できないのか。</p>
議員回答	<p>機会がある度に有利なものに借替は行っていると報告を受けている。この水道事業の借入れは国の貸付事業が基本となり、国の意向もあり、一篇には改善しにくいこともあると聞く。 今後も指摘し、統合等も含め改善策を求めていく。</p>
行政側回答	<p>上下水道課</p> <p>本市の農業集落排水事業は、昭和63年4月に太良庄施設の供用を開始以降、順調に整備を推進し、現在、市内に11の施設があります。事業は、国・県・市の補助金、地元負担金、地方債を財源として実施しました。</p> <p>その地方債借入については、日本の経済が好景気であったバブル期の影響を受けたため、現在の一般的な利率よりも高くなっており、経営を大きく圧迫しています。</p> <p>国は地方の厳しい財政状況に鑑み、平成19年度から24年度にかけて、地方債利息分相当額に対する補償金を免除する「臨時特例措置」を実施しました。その臨時特例措置の対象となる地方債の主な要件は、平成4年5月31日までに借入をした金利5%以上のものです。対象となった地方債については、借り換えによる繰上償還を実施しています。</p> <p>しかし、要件に該当しなかった地方債については、利息分相当額を補償金として納めなければならないため、借り換えによる繰上償還が進んでいない状況です。</p> <p>臨時特例措置の再実施および要件拡大については、本市が属する「中部地方下水道協会」をはじめ、関東や関西地方の協会などと連携し、今後とも全国的で重要な要望として国へ働きかけを継続していきます。</p> <p>また、将来にわたり安定・継続した下水道サービスが提供できるように、公共下水道への統合等も視野に含めた、サービス向上と合理化する事業経営に努めていきます。</p>

加 斗 地 区

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【加斗地区】 P19

質問	<p>除雪について、今回の雪は近年にない降雪だと思います。契約業者の車両全てで30台は少な過ぎる、もっと業者に依頼するなどしてほしい。小浜の市街地の中では最後まで圧雪がのこった、今回の大雪での経験を生かしてほしいと思います。</p>
議員回答	<p>機械があっても運転する人が不足しているのが現状。 業者により除雪地域が決まっている。市道延長が435キロメートルあり、その内除雪路線というのが決まっております。それが約260キロメートルとなっております。今回遅くなった原因は圧雪でした、無理して押すと、塀を壊したりする、また排雪作業が出てきましたので、なお遅れた事が原因でもあります。</p>
行政側回答	<p>都市整備課</p> <p>今回の大雪の経験を踏まえ、除雪協力業者への機械保有協力や、オペレーター人材の育成の協力依頼を行っていきます。現在、少しではありますが、業者の協力で、通常配備の除雪機械の増強を予定しています。</p> <p>しかしながら、小浜市は雪の少ない年が多くあることから、現在の社会情勢においては、業者で除雪用機械を常時保有しておくことが、困難となっており、地域の皆様にはご理解をお願いします。</p> <p>また、市では、市民協働の地域除雪補助事業の中で、トラクターなどに付ける除雪板の補助もありますので、地域のご協力もお願いします。</p>

雲 浜 地 区

小浜市議会報告会

質問、要望に対する回答 【雲浜地区】 P22

質問	<p>昭和58年の大雪のときは2月に2週間ぐらい続いた。今年のような除雪体制で、2週間も続いたときに、市はどんな対策をとるのかということをもっと質問していただきたい。</p> <p>今回、除雪車両が30台ということだが、昭和58年のような状況だと足りない。自主防災のことも踏まえて、きめ細かな対策をつくらないと市民に大変な迷惑をかけることとなる。</p> <p>議会も理事者の説明の丸飲みではなく、市民のために少し強い気持ちで理事者にあたってほしい。見回りなどの対応を、市職員はしていたのかということも疑問に思う。市民から苦情があるということは、サービスが不足していることなので、今後、議員は行政に対して強い意見を言っていたきたい。</p>
議員回答	<p>その件に関しては3月議会での一般質問、そして、全協でも全議員が理事者側に対して、様々な形で質疑をしている。</p> <p>市道は全長435kmで、そのうち除雪路線が260km、路線数では584路線という中で、雪は金曜日から降り出し、土曜日になると「除雪車が来ない、どうなっているのか。」という電話が各議員に何本も入ったと思う。それに対して、「優先順位があるので、しばらく待ってほしい。」と対応したが、日曜日の昼になっても除雪車が行かなかった、というものである。</p> <p>ご指摘の点は十分に理事者側にも伝えており、議員も十分にわかっている。理事者側も今後、その点を再度見直すと言っている。初期対応が悪かったという訳ではないが、結果としては反省することがたくさんあったと思う。十分に対応してまいりたいと考えている。</p>
行政側回答	<p>都市整備課</p> <p>今回の大雪は、一度に降り積もった雪の量が異常であった（日最大降雪量81cmは昭和55年の観測以来最大）ことから、雲浜地区において、配置していた機械の除雪能力を大幅に上回る積雪のため、通常配置機械で除雪が不可能となり、緊急対応用の機械調達などに時間がかかり、除雪が遅れたことは大変ご迷惑をお掛けしました。また、除雪を行ったそばから、雪が積もったため、通行車両による圧雪が発生しましたが、未除雪区間を優先する必要があったため、圧雪除去も遅くなり、重ねてご迷惑をお掛けしました。</p> <p>市職員パトロールによる情報収集にも努めていましたが、このような除雪もままならない状況下であったことから、パトロールに時間がかかってしまいました。</p> <p>今後、このような降雪の場合の除雪体制のスムーズな切り替えなど、除雪協力業者と協議し、対応を検討していきますが、一度に大量の機械を導入することは、市も業者もできないことはご理解をお願いします。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【雲浜地区】 P23

質問	<p>除雪のことで特に感じたのは、車のすれ違いができなかったことである。以前はそのような除雪はしてなかったと思う。それと、城内2丁目で排雪をしようと思ったら一番浜側のところに大量の排雪が置いてあり、雪を捨てることができなかったが、どのような除雪をしたのかなと思う。</p> <p>やはり経験不足の職員が多いと思う。重機があっても、それを動かせる職員がいないことが問題では。市が重機を持っていながら、オペレーターを雇わなければならないことも大きな問題と思う。宝の持ち腐れになっているのではないかと考える。</p>
議員回答	行政に伝える
行政側回答	<p>都市整備課</p> <p>今回の大雪では、一度に積もった雪の量が異常であり、排雪を行うスペースに余裕がなかったことから、一車線分しか除雪が行えませんでした。広げすぎてしまうと、家の塀などを破損する恐れもあります。</p> <p>このため、少しでも除雪幅を確保するため、排雪できる場所に可能な限り雪を置かせていただいたことから生じた結果と考えますので、ご理解をお願いします。</p> <p>市の施策により、市保有機械の除雪オペレーターは、重機を扱える雇用者のいる業者へすべて委託しております。また、市職員は道路パトロールや市民の方からの電話などの情報収集に携わっており、原則、直接除雪を行っていません。(一部の歩道除雪は除く)</p> <p>今回の大雪の経験を踏まえ、除雪協力業者へ、オペレーター人材の育成の協力依頼を行っていきます。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【雲浜地区】 P23

質問	<p>養殖鯖の収支はどうなっているのか。</p>
議員回答	<p>今は補助金で取組んでいるが、補助金がなくなっても継続できるような力をつけなければだめだと思う。補助金がなくなった時に商業ベースに乗るような形へもっていかなければならないというのが、1つの大きな前提である。</p>
行政側回答	<p>農林水産課</p> <p>サバの養殖につきましては、これまで小浜市では事業レベルでの取組例がないことから、平成28年度より、試験養殖として、小浜市漁業協同組合、福井県立大学、若狭高等学校、福井県等と連携し、種苗の確保や給餌、出荷の方法など様々な技術の研究を行っております。</p> <p>まだ試験を開始して1年であり、養殖規模も小さく、様々な技術を試しているところですので、現時点では収支は計算できませんが、将来的には、事業の採算を見通すことができ、補助金がなくとも漁業者がサバ養殖に取り組めるよう、早期の技術確立を目指しております。</p> <p>小浜の養殖サバが定着するよう、市民の皆様の応援をお願いします。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【雲浜地区】 P24

質問	<p>文化都市小浜というのなら、旭座をまちづくりの核にして文化的な行事を積極的に実施するとともに、文化会館の活用も図る必要がある。</p>
議員回答	<p>行政に伝える。</p>
行政側回答	<p>文化課</p> <p>「旭座」では、開館以降、市内に残る伝統芸能や祭りの披露、落語、演劇など、明治期の芝居小屋という独特の雰囲気の中で、演者と観客が一体感を感じながら楽しめるイベントを実施しています。</p> <p>一方、最大800人が収容できる文化会館では、文芸おばまを中心に、第九演奏会やダンスフェスティバルなど、プロの芸術家を交えた芸術鑑賞事業を市民に提供しています。</p> <p>今後も2つの施設が持つ、それぞれの特性を生かしたイベントを市民の皆様のご意見を取り入れながら、実施していきたいと考えています。</p>

西 津 地 区

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【西津地区】 P29

質問	<p>獣害用の金網ですが、山手、甲ヶ崎はできているが、福谷区はできていない。農林水産課に聞いたら金網が1メートル1,500円かかり、2キロメートルあるので、300万円かかるが区では対応できない。獣はできていないところから出てくるので、どうしたものか。</p>
議員回答	<p>口名田地区でも同じ状況で、現物支給を受けても高齢化で作業をする者がいない、業者に頼むと負担が大きいと悩んでおり、市の方へも対策をお願いしたい。</p>
行政側回答	<p style="text-align: center;">農林水産課</p> <p>小浜市では、集落が主体となっていく鳥獣害対策を推進しており、その中で集落において実施する金網柵の設置に補助を行っています。</p> <p>金網柵の設置には自力施工と請負施工があり、自力施工は現物支給により区民で設置していただくことになるため地元負担は必要ありませんが、請負施工により業者等に設置してもらう場合は2割の地元負担が必要となります。</p> <p>事業に取り組むに当たっては、金網柵の設置場所について地権者の同意を得ることとともに、設置後の補修や草刈り等の維持管理について福谷区民の同意を得ていただくことが条件となります。</p> <p>その上で、金網柵の設置延長や費用対効果について一定の条件を満たしていることを確認できれば、事業採択に至ります。</p> <p>特に、金網柵は、設置すれば被害が止まるわけではなく、設置後の維持管理が重要になりますので、ご注意ください。</p>

小 浜 地 区

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【小浜地区】 P 31

質問	<p>高成寺裏の三の浜へ行く道が長いこと壊れたまま、勢浜のところにあった高橋長者の看板がなくなっている。</p> <p>佐久間艇長の階段のところの街灯が壊れているが、あの時は、道が崩れて上がれなかったが、地元が必要なければ、撤去との話もあり、星の広場についても星は夜見るものだが、車で上がりにくく小浜市は何のためにあの広場を作ったのか、市がなぜそんなことを言うのか疑問です。</p>
議員回答	<p>青井公園の星の広場については市の方で草刈りをしていただいています。草木の伸びに追いつかないのが現状で、観光のお客さんからも、いい公園なのでもっと活用をというご意見もいただいております。市のほうへも伝えておきます。</p>
行政側回答	<p>商工観光課</p> <p>真珠浜の一の浜、二の浜、三の浜はそれぞれ独立した浜となっています。</p> <p>一の浜に海水浴場を開設していた折に、それぞれの浜の行き来が可能となるよう、平成元年に遊歩道を取り付けておりましたところ、激しい波浪により破損いたしました。</p> <p>遊歩道設置当時、海水浴場として開設しておりましたが、浜茶屋を開設する業者がいなくなったことから、海水浴場の指定はしておりません。</p> <p>ただし、以前の遊歩道が危険な状態となっておりますので、安全対策として今年度中に立入禁止の柵を設置し、通行止めといたします。</p> <p>また、無くなっていた高橋長者の看板、「人の駅 八百比丘尼」看板は、今年5月に修復し、設置しております。</p> <p>ご指摘の佐久間艇長前の街灯については、修繕し現在は点灯しております。小浜公園海望山一帯の街灯については、順次、修繕する予定をしています。</p> <p>また、頂上の展望台や星の広場から海望山の階段を降りる道については、年3回、6月下旬と、8月、10月に除草し、散歩道の維持に努めておりますので、ぜひ散策していただきたいと思っております。</p> <p>(都市整備課)</p> <p>星の広場へ上がる道路については、地形が急峻で、地山の風化も進行していることから、抜本的な改良工事には膨大な費用を要するため、崩土撤去などの維持作業により通行を確保できるよう、その都度対処しております。</p> <p>作業環境によっては一時通行止の期間が必要となる場合もありますが、ご協力をお願いします。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【小浜地区】 P 32

質問	<p>青井の山の上に市民の森があり、記念植樹をされたが、単年度事業でその後整備がされていなく、歩こう会で行かれても観光の方がいかれても苦痛だと思っているので考えてほしい。公園でゴルフの練習をされている方もあり、犬の糞もそうですが、マナーの問題で、なかなか難しいが、例えば犬の予防接種の時にチラシの配布などをして啓蒙してはどうか</p>
議員回答	<p>予防接種の時のチラシの配布など良いアイデアですので、是非ともお願いをしたいと思います。山の管理については、後瀬山の国の史跡に小学校の跡地も追加史跡になりましたので、小浜市若狭歴史基本計画構想で山全体を管理する計画もあるようですし、看板の設置も計画があるようですので、一度現場も見せていただきたいと思います。</p>
行政側回答	<p>商工観光課</p> <p>(農林水産課) 海望山の桜を植樹した「市民の森あおい」の山道は、毎年7～8月の夏前と、10～11月の秋に除草および道の整備をしています。今年は、8月上旬に行く予定です。今後も適正な管理に努めてまいります。</p> <p>(都市整備課) 多くの方が利用する公園でのゴルフ練習等、他の方に危険な行為については、見かけた場合に注意して参ります。</p> <p>(環境衛生課) 犬の糞便などのマナー向上については、市政広報に狂犬病の予防接種案内をする時に、ペットマナーについても掲載し、啓発を図っています。 この7月号では具体的なペットマナーについて特集を組み掲載いたしました。また、ペットマナーを守るよう注意した看板を、希望する地区等に配布しておりますので、必要な場合は、申し出ていただきたいと思います。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【小浜地区】 P 33

質問	<p>小浜地区は放生まつり等もあり,トイレの数が足りないので増やしてほしい。</p>
議員回答	<p>伝えておきます。</p>
行政側回答	<p>商工観光課</p> <p>既設トイレについては、市内には、香取、日吉、まちなかの駅、駅前、台場浜公園、三の堀公園、中央公園ほか点在しており、数は足りていると認識しております。</p> <p>放生祭については、祭礼委員会が7年間ほど仮設トイレを5ブース設けていたと聞いております。設置時、仮設トイレの利用は少ないにもかかわらず汚れがひどく、手間をかけた割りに効果があまり見込めない状況でしたので、5、6年前にやめることとしたとのことです。</p> <p>祭礼委員会としては、旧香取交番前、まちなかの駅、八幡神社に24時間対応の常設トイレがあり、祭りの日のまち歩きには十分と考えており、トイレの地図を本陣などに配架して対応しているとのことです。</p> <p>今後、祭礼委員会に、判り易く見つけやすい周知方法、看板の取り付けについてお願いしていきたいと思います。</p>

小浜市議会報告会

質問、要望に対する回答 【小浜地区】 P33

質問	<p>犬の糞の処理やトイレのことは商店街でも困っており、犬の糞については、商店街の方々が自主的に処理をしているが、通行のお客さんが踏んづけてしまうと散らばってしまい困っている。昼間は見かけないので早朝や夜間かと思う。雨の日などはアーケードがあるので、よそから散歩に来るが、その人たちの処理が悪いようだ。それ以外にも鳩の糞と野良猫の餌やりなど猫が増えていて近隣のトラブルもなっている。</p> <p>それと、駅通りのトイレは商店街が管理しているが水の出しっぱなしやドアを壊されたり、掃除も商店街で毎日しているが維持費が30～40万円ほどかかり市へ委託したい。はまかぜプラザのトイレも祭の巡行や休憩所として使っていただきたいと240万かけて改修したがこちらも維持費が大変で、補助金など議会の応援もお願いしたい。</p>
議員回答	<p>市への要請もされているようですが、お聞きしましたことは議会としても伝えていきます。</p>
行政側回答	<p>商工観光課</p> <p>(環境衛生課)</p> <p>犬の糞については、放置しないように呼びかける看板を、要請のあった地域に配布し、設置していただいております。また、市政広報においても動物の飼育についてのマナーを守るよう周知を行っており、この6月25日発行の7月号でペットマナーについて特集し、全市民に向け具体的にマナーの周知をしたところです。</p> <p>(商工観光課)</p> <p>お尋ねの商店街のトイレにつきましては、市の施策である“まち歩き観光”を進める上で重要な要素の一つであると認識しています。</p> <p>ただ、駅通り会館1階の公衆トイレについては、現時点において極めて老朽化が進んでおり、観光客のニーズにお応えするためにはある程度の修繕が必要であると思われることから、国等の補助制度適用の可能性を検討してまいりたいと考えています。</p> <p>また、はまかぜプラザのトイレにつきましては、マリンピアや放生祭等イベント開催時に一般客の利用が増えるものと思われませんが、市では、小浜地区まちづくり協議会への補助を行っており、まち協との連携のもとで必要分のトイレトーパーの補充を受けるなど地元での工夫の中でご対応いただければと考えています。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【小浜地区】 P 34

質問	<p>5月1日の新聞記事に管理会社としてオーイングさんとまちづくり協議会の木下さんのコメントが出ていたが、あの記事を見て愕然とした。せっかくいいものが出来たと喜んでいたが、記事では年2回の協議会で任せっぱなしとあるが、行政は、こんな形でこんなことをしてほしい等、共助として地域へお願いするとよいのではと考えるが、何かアドバイスはないか。</p>
議員回答	<p>5月1日の新聞記事は一体感がなかったと書かれていたと思うが、私たちが指定管理者の中へ入るのはむしろかしい。一体感がないということは、話し合いが少なかつたと思うので誤解のないように意思の疎通が大切、マスコミによって表現のしかたの違いもあるかと思うので注視していきたい。</p>
行政側回答	<p>商工観光課</p> <p>まちの駅の企画運営等は、指定管理者をオーイングと定め、実施していただいております。</p> <p>指定管理制度とは、指定管理者に施設の管理運営費を支払い、民間活力を活かした施設運営を行っていただく制度です。</p> <p>一方、指定管理者と市や地元商店街、文芸団体等で構成する企画実践委員会において、施設活用にかかる課題を抽出してまいりました。</p> <p>前回7月20日の会議では、まちの駅の課題のみならず、小浜西組等も含め、地域に人をどう呼び込むかを考える必要があるという認識のもと、今後、企画実践委員会をグレードアップし、諸課題について検討していくことに決定いたしました。</p> <p>今後、グレードアップした企画実践委員会の中で、まちの駅そのものの課題や、観光誘客等について考えて参ります。</p> <p>また、まちの駅の活用につきましては、市街地の方だけでなく、市内全域の団体が利活用されるよう働きかけをして参りたいと思います。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【小浜地区】 P34

質問	災害避難時での避難のありかたについて、避難の際の声掛けや災害救助支援中の事故について、加害者になった場合の保険はないのか。
議員回答	保険のことについて、そこまでは考えていないと思うが、ご意見は市へ伝える。
行政側回答	<p>生活安全課</p> <p>市や地区主催の社会奉仕活動や防災訓練などにつきましては、参加者が訓練中に怪我等した場合に補償を受けられる市民総合賠償補償保険に加入しております。</p> <p>しかし、現在のところ、災害時の避難誘導時や応急対応などにおける事故等に対する賠償制度は無く、個人の保険等で対応していただくことになります。</p>

中 名 田 地 区

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【中名田地区】 P 35

質問	<p>除雪について、1月2月に降った雪は昼間の雪で、今回のように短時間で降る雪もあり、また、除雪の基準も国道、県道、市道と除雪スタートのところや業者との契約等いろいろ決まっていると思うが、地元業者も2軒から1軒に減っていることなど、地域の実情に合わせた除雪ができないか。</p>
議員回答	<p>今、市道は435キロあり、雪寒路線約100キロを含めて除雪路線は約260キロある。除雪は、準備体制、平常体制、警戒、緊急体制に基づいて除雪を行っています。計画の見直しも含め地域の実情に合った除雪も大切ですので、市の方に伝えていきます。</p>
行政側回答	<p>都市整備課</p> <p>中名田地区においては、市道と県道の出動基準は同じであるが、除雪範囲の差により、対応に差が出ているものと考えます。どうしても市道は狭く、道路際の構造物が多い箇所もありますので、時間がかかってしまうことはご理解をお願いします。</p> <p>なお、中名田地区の地元業者は1社となりましたが、配置機械の数は変わっておらず、また除雪能力をアップさせるため、規格変更も行っています。今後も可能な限り計画見直しなどを行っています。</p> <p>また、市では、市民協働の地域除雪補助事業の中で、トラクターなどに付ける除雪板の補助もありますので、地域のご協力もお願いします。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【中名田地区】 P35

質問	<p>除雪について2名の方がフルで動いていただいたが、休憩や睡眠もとらなければいけないので、地域内に資格を持ったオペレーターの方もいるので補助要員の予算も検討してほしい。</p> <p>労働基準のこともあり契約はどのようにしているのか、雪がなくなるまで除雪しなければならないのか。</p>
議員回答	<p>補助要員については、そのとおりだと思うので、市の担当のほうへ伝えておきます。</p> <p>今回のようなケースもありますので、地元要望や計画等確認して連絡します。</p>
行政側回答	<p>都市整備課</p> <p>市のオペレーターとの契約にあつては、降雪時は常に出動できる体制をとっていただき、通行確保ができるまで、除雪を行っていただくこととなっています。また、契約業者には交代要員を準備していただいております、必要に応じて対応することとなっています。</p> <p>しかしながら、今回の大雪では交代要員の十分な運用が図れていない箇所もあったと聞いていますので、契約業者には適切な配備を行っていただくよう要請していきます。</p> <p>追加の補助要員については、市の契約基準では、日雇いなどを急に行うことができません。</p> <p>緊急時の補助要員の追加については、除雪協力業者の対応状況を確認しながら、可能な方法を検討していきます。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【中名田地区】 P36

質問	多面的の事業で、金額によっては入札になるが、災害などで、地元の業者にお世話になるので、できるだけ地元を使ってほしい。
議員回答	災害等地元は大切なことなので、伝えておきます。
行政側回答	<p>都市整備課・農林水産課</p> <p>災害時などの緊急的な工事に関しては、災害協定に基づき、(公社)小浜市建設事業推進機構と契約する工事もあります。</p> <p>その際には、機構内で優先的に地元業者が施工するよう配慮されていると聞いております。</p> <p>(ただし、施工規模、人員配置等の考慮は必要と思われます。)</p> <p>ただし、災害でも本復旧工事など一般的な工事に関しては、一般競争入札が原則ですので、地元業者を優先することは困難かと考えます。</p>

遠 敷 地 区

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【遠敷地区】 P38

質問	<p>人口減少対策を小浜市も率先して取り組むべきである。 市の非正規職員やパートの職員を正規職員として採用して雇用を広げていかないと民間も正規職員の採用をしない。小浜市が率先して採用すべきでないのか。</p>
議員回答	<p>正職員の減少は職員の士気の向上にも影響を与える。意見として担当課に伝える。</p>
行政側回答	<p>総務課</p> <p>正規職員の採用に関しては、健全な財政運営を進める中、スリムで効率的・効果的な行政運営を目指し、職員数の適正管理の中で取り組んでいます。今後も、毎年度、新規採用は行っていく予定ですが、当面、正規職員数については現状維持が基本的な考え方です。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【遠敷地区】 P38

質問	<p>美郷小学校の新設に間に合うように通学路の確保を図るべきである。J R との間の踏切に対して歩道橋か地下道で対策してほしい。</p>
議員回答	<p>担当課に伝える。</p>
行政側回答	<p>教育総務課</p> <p>徒歩通学路につきましては、登下校時の児童の安全を最優先に考え、教員やP T A 代表者などで組織した開校準備委員会通学部会で決定し、おおむね児童の安全は確保できるものと考えています。</p> <p>J R 小浜線踏切部分の整備や歩道の設置などの要望については、児童の通学上の安全対策として大変重要であると認識していますが、対策方法や整備時期につきましては、J R 西日本との協議により決定するものであることから、現時点では学校の新設までに対応することは困難であると考えています。</p> <p>しかしながら、早期に対応が可能となるよう今後も引き続き、J R 西日本を始めとした関係機関と調整を行っていきます。</p> <p>都市整備課</p> <p>現在の踏切部分に歩道橋、地下道等の建設を行うことは、小学校の開校まではもちろんですが、将来的にも現実的に困難であると考えられます。</p> <p>今後、前後の歩道にあわせて、踏切の拡幅をするよう J R と協議を行う予定ですが、すでに供用されている通学路、交通量等の条件により、優先順位が決められ、J R へ委託しての施工となるため、施工年度は未定です。</p> <p>市としては、少しでも早期に施工できるよう求めていると考えています。</p>

口 名 田 地 区

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【口名田地区】 P40

質問	<p>公民館・保育所や学校など公共の建物の駐車場の除雪は出来ないか。避難所になっていることもあり、学校では授業時間を潰して職員や子どもに雪かきをさせるのは本末転倒ではないか。大きい機械でかけば時間もかからないのでは。</p>
議員回答	<p>市では緊急車両の通行を最優先に除雪計画を立てていて、それをもとに除雪を行っている。昔に比べて土建業者の体力も弱っていて、大雪の場合除雪機械の台数も限られ、道の除雪で一杯となり施設まで手が回らない。費用の面もあり早急に結論は出ないと思うが、議会として積極的に行政と議論していく。</p>
行政側回答	<p>生涯学習スポーツ課</p> <p>市内公民館の駐車場の除雪については、駐車場の規模が様々であり、小型除雪機等で館長や職員が直接除雪する場合や、地域の協力を得る場合、また、業者に委託する場合など様々です。 なお、公民館によっては宝くじ助成等を活用して、エンジン除雪機を導入している事例もあります。</p> <p>子ども未来課</p> <p>保育園では、雪が降った場合、基本的には、職員が除雪するようにしています。 大雪の場合は、あらかじめ、保育会（保護者）から、除雪の依頼を受けている業者の方々に除雪をしてもらったり、保育会が自主的に除雪の手伝いをしていただけるなど、保育に支障が出ないような体制になっています。</p> <p>教育総務課</p> <p>学校敷地内の除雪については、各小中学校で対応しており、積雪の日の朝には、児童生徒の通学の安全確保を図るため、教職員が除雪を行っているのが現状です。 ご指摘のとおり、機械除雪を行うことの必要性は感じますが、道路除雪が優先となっていることから、除雪体制が整わない状況であることをご理解願います。 また、授業時間を潰しての除雪は行っていないと把握していますが、教職員と子どもたちが協力し、除雪や清掃など環境面の活動を行うことも、教育上大切であると考えています。</p>

<p>行政側回答</p>	<p>都市整備課</p> <p>道路管理者としては、議員回答のとおり、限られた機械で市道除雪を優先して行っており、地域除雪のご協力もいただきながら、何とか対応しているのが現状です。</p> <p>このため、各施設の除雪については施設管理者で除雪をお願いしたいと考えています。</p>
--------------	--

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【口名田地区】 P40

質問	<p>公民館には簡易的な除雪機はあるが、オペレーターは館長しかいないので、早朝5時や6時となると館長の負担がすごく高くなる。地区の人も各地区で除雪に手一杯である。例えばオペレーターの養成とかを考えてもらいたい。</p>
議員回答	<p>市としてはまちづくり協議会での対応を期待している。降雪の場合小浜市全域が降るので、他地区からの応援は難しい。消防団も仕事を持ってるとし定員の件があるので増員もままならない。しかし家から出れない、高齢者とか、通学が出来ない等も事実なので自主防災組織と絡めて行政と話をしていく。</p>
行政側回答	<p>市民協働課</p> <p>口名田公民館にある除雪機については、口名田むらづくり推進委員会が平成26年度にコミュニティ助成事業（一般財団法人自治総合センター）の採択を受けて、住民が自主的に行うコミュニティ活動に直接必要なものとして整備されたものです。</p> <p>除雪機のオペレーターについては、公民館長以外の方も利用できるよう、地域のまちづくり協議会の方など数人の方が対応できる体制を整えていただきたいと考えています。オペレーターの養成については、市としても、協力できることがあれば積極的に対応していきます。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【口名田地区】 P 4 1

質問	<p>口名田公民館が避難場所になっているが、小浜市のハザードマップを見ると黄色になっている。そんなところに避難場所があってもいいのか。口田縄も集会場が避難場所だが、地図では土砂が流れてくるとなっている。なぜそうなるのか。</p>
議員回答	<p>一応公共的な建物が指定されている。災害も地震、台風とか火災等いろいろあるし、その時その時の判断での行動も必要。 今決めてある公共建物は耐震・収容人員、集中管理等の話で、実際の地形、避難経路等のリスクも勘案して、実情を一番わかっている地域の人たちと行政とが一緒に再検証することも必要。</p>
行政側回答	<p>生活安全課</p> <p>土砂災害ハザードマップについては、平成11年の広島の土砂災害を受けた土砂災害防止法の改正に基づいて、福井県が平成16年から調査および土砂災害警戒区域等の指定に着手しました。</p> <p>本市においては、平成23年に市内全域について、県による区域指定を完了し、同年8月に土砂災害ハザードマップを全戸配布したところです。口名田公民館の場所は、土砂の影響は受けますが、建物の破壊までには至らないとされるイエローゾーンにあたり、しかも土石流等の現象により生ずる外力に耐えうる構造となっていると考えられることから指定避難所としています。</p> <p>口田縄集会場については、市の指定避難所ではありませんが、土砂災害防止法が改正される以前の平成6年に建てられたものであるため、土砂災害警戒区域(イエローゾーン)にあたっているものと思われます。なお、口田縄区民の方々の避難先としては、橋を渡って対岸へ避難することは危険である等のご意見から、平成18年から土砂災害区域ではない総合運動場を臨時避難場所とし、各種ハザードマップに記載し周知を図ったところです。</p> <p>この臨時避難場所は、開設などを行う市の職員を配置しない施設であることから、施設管理人が施設閉鎖する夜10時までに入所していただければ、一時的な避難が可能となっています。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【〇名田地区】 P 4 1

質問	<p>ビジットOBAMA推進事業で、京都には外国人があふれているので、彼らを誘客する方策。大阪までの定期便を京都回りにするとかの考え方はどうか。</p>
議員回答	<p>新幹線が出来ると19分で小浜へ来れるので、県境が取れるのかなと期待している。その為にも早期の新幹線の全線開業が必要。 それまで小浜市もいろいろ外国人招致の仕掛けをやって呼び込む努力も必要。</p>
行政側回答	<p>商工観光課</p> <p>市では、平成27年度をインバウンド推進元年とし、これまでに様々な施策を講じています。 公式ホームページやパンフレット、案内看板等の多言語化およびWi-Fi環境の整備、また、それらに自主的に取り組まれている事業者への補助、民宿における設備改修補助や先進地視察、翻訳アプリ研修会など、多彩な取り組みを行ってきました。 昨年9月には在日台湾人、本年1月には在日フランス人を対象としたインバウンドモニターツアーを実施し、市内の様々なコンテンツをモニターしていただき生の声を各事業者にフィードバックするなど、主に受け入れ体制の整備・充実に努めてきました。 また、株式会社まちづくり小浜「おばま観光局」においても、観光庁の補助事業を活用し、京都を訪れている訪日外国人を小浜へ誘客するための方策を検討しています。 具体的には、関西ゲストハウスの長期滞在者に対するアンケート調査を行い、2月にその結果を反映したモニターツアーを実施したほか、3月には、国内でも数台しかない2階建てレストランバスを活用し関西在住外国人をモニターとする京都発着のツアーを行うなど、今後のインバウンド戦略を構築する上で貴重なデータ収集を進めていただきました。 市では、今後も引き続き「おばま観光局」と連携し、周知・誘客・受け入れ体制の整備等総合的に推進を図ってまいりたいと考えています。 なお、ご意見にございました『大阪までの定期便を京都回りに』につきましては、福井鉄道が運行している小浜・大阪間の若狭ライナーのことと推察しますが、これを京都回りにすることは困難であり、別にJR西日本バスが運行する小浜・京都間の直通バスがあるので、インバウンド推進に有効活用するとともに周知を図ってまいりたいと思います。</p>

松 永 地 区

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【松永地区】 P42

質問	<p>若狭広域行政事務組合では、4つの市町の介護保険料の統一は考えているのか。</p>
議員回答	<p>介護認定は広域でという自治体はあるが、介護保険料も含め、まだこれからの議論になると思う。</p>
行政側回答	<p>高齢・障がい者元気支援課</p> <p>介護認定審査事務については、現在、嶺南地域では、小浜市、おおい町、高浜町の3市町で構成する若狭地区介護認定審査会、美浜・若狭介護認定審査会、敦賀市介護認定審査会の3つの審査会で実施しています。</p> <p>介護認定審査事務の課題として、各審査会により審査結果にバラつきを生じさせないことが求められており、更なる介護認定基準の平準化を図るため、平成30年度から若狭町を含む4市町で構成する若狭広域行政事務組合において、介護認定調査事務の共同処理を実施することとなり、現在、移行に向けて、準備を進めているところでございます。</p> <p>なお、介護保険料については、各市町の事業所数やサービス提供体制等が異なることから、現在、広域での介護保険料の統一は考えておりません。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【松永地区】 P43

質問	<p>農業集落排水の管理に対する条例の改正が出ているが、そろそろ大規模な改修時期にだんだん入ってきていると思う、借り入れの金額も違うということで、なかなか統合するのは難しいかもしれないが、公共下水道との統合は考えているのか。</p>
議員回答	<p>議会の中でも議論しております。人数割と水量割の解消も含め市役所では将来的に統合していく方針と聞いています。</p>
行政側回答	<p>上下水道課</p> <p>本市の下水道事業は、市街地域を公共下水道事業、農村区域を農業集落排水事業、漁村区域を漁業集落環境整備事業で整備を進めてきました。市民の皆様の下水道への早期整備に対する大きな期待を受け、様々な事業を活用して、短期間で集中的に整備を進めてきた結果、県内でも早くから整備率や普及率はトップクラスで、皆様の生活環境の向上や公共用水域の水質保全に寄与することができました。</p> <p>しかし、様々な事業を活用して整備を進めたため、事業形態や整備規模等の違いにより使用料の体系や単価が異なっています。使用料の体系を大きく分類すると、「水量制」が公共下水道と漁業集落排水使用料、「人員割制」が農業集落排水使用料になります。</p> <p>農業集落排水事業については、平成29年度より国の補助を受け、施設の長寿命化、ライフサイクルコストの低減、機能の健全化等を図るため、3年間かけて機能診断調査と最適整備構想の策定を実施します。</p> <p>策定する最適整備構想の中で、公共下水道事業区域に隣接している「甲ヶ崎」・「国富」・「松永」の3つの施設を中心に、公共下水道への統合を検討していきます。統合には様々な課題が想定されますが、1つの目安として地方債の償還が終わる頃を統合時期と考えています。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【松永地区】 P43

質問	<p>農業集落排水が公共下水道と統合した場合新たな加入金は発生するのか。</p>
議員回答	<p>統合する前に農業集落排水が現在抱えている起債の償還などでの支払いはあるかもしれないが、加入金というのではないと思う。</p>
行政側回答	<p>上下水道課</p> <p>農業集落排水事業を公共下水道事業に統合することについては、平成31年度に策定する「最適整備構想」の中で検討し、1つの目安として地方債の償還が終わる頃を統合時期と考えています。</p> <p>公共下水道事業への統合において予想される課題として、①使用料体系の変更、②地方債償還残高の取り扱い、③既存施設や土地の活用方法、④受益者負担金・分担金（加入金）の取り扱い等が挙げられます。</p> <p>④の受益者負担金・分担金とは、公共下水道事業区域において、下水道の整備費用の一部を負担していただくため、土地の面積：1平方メートル当たり、500円～580円の単価で算定した金額を納付していただくものです。</p> <p>農業集落排水事業においては、建設当初に事業費の一部を加入者の皆様にご負担をさせていただいており、これが公共下水道事業の「受益者負担金・分担金」に相当するのではないかと考えています。</p> <p>しかし、公共下水道事業へ統合後に、新規で宅地開発される場合や、新築等に伴い新たに下水道の整備が必要になる場合等における「受益者負担金・分担金」の取り扱いを含めて、今後、改めて検討していく必要があると考えています。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【松永地区】 P43

質問	<p>快速鉄道の運動が発展的に解消になり、その積み立てが80億ほどあると思いますが、その使い道について、今後のどういう方向に使っていくのかなど、今どの程度検討されているのか。</p>
議員回答	<p>快速鉄道の積立金ですが、今回の当初予算では積み立て金は今年度から取りやめになりました、その積立金の使い道については現在は決まってない状況でございます。</p>
行政側回答	<p style="text-align: center;">人口増未来創造課</p> <p>快速鉄道の基金は、県が約50億、嶺南6市町で約30億の積み立てがあります。</p> <p>基金の取り扱いに関しては、嶺南6市町全域の活性化に資するため、現在、県と嶺南6市町で年内中の方針決定に向けて検討中です。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【松永地区】 P 4 4

質問	<p>公立小浜病院のことなのですが、高度救急救命医療という病院のわりには、お医者さんが、いなくて、他院へ転院の途中で命を落としているという事例を聞いたことがあるが、お医者さんの確保にどのような努力をされているのか、お聞きしたい。</p>
議員回答	<p>京都大学への寄附講座からの医師派遣、大学医学部に入学される場合の補助金が昨年度まで約10年間あり、それらの取り組みにより少しずつ医師は増えつつある。</p>
行政側回答	<p>高齢・障がい者元気支援課</p> <p>公立小浜病院では、福井大学、京都大学への常勤医師の派遣依頼や両大学医学部に公立小浜病院組合の構成市町が資金を提供し、研究教育活動を行ってもらい寄附講座を開設することで、両大学から継続的に医師派遣をしていただき医師確保に努めています。</p> <p>その取り組みにより、平成28年5月から、内科、整形外科で紹介外来制を廃止し、紹介状、予約がなくても、受診ができるようになりました。</p> <p>また、嶺南地域の企業が設立する嶺南医療振興財団による医師の派遣については、平成29年度は4名の医師が公立小浜病院に勤務しています。</p> <p>医師不足の解消については、人材を育成する指導医を確保することが重要であり、寄附講座の一環として、福井大学の地域医療推進講座の教官を招き、公立小浜病院の医療水準の向上と若手医師の育成に努めています。</p> <p>嶺南唯一の救命救急センターおよび高度医療機器が整備されていることなど、公立小浜病院のメリットをアピールし、今後も医師確保に努めていきたいと考えています。</p>

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答 【松永地区】 P 4 4

質問	市民の中には舞鶴の共済病院のほうが良い医療を受けられると言う人がいるが、小浜病院はどのような対策をとっているのか。
議員回答	小浜病院は救急医療も対応する若狭地方の中核病院です。地域の人にとってもなくすわけには行かないと思う、小浜病院にも専門分野に長けた医師もおり、病状により紹介などもしていただける。うわさで左右されずなくなるべく小浜病院に相談してほしい。
行政側回答	<p>高齢・障がい元気支援課</p> <p>公立小浜病院は、若狭地域の基幹病院として、救命救急センターを有しており、救急医療として、急性期の高度な専門的医療サービスを提供しており、365日24時間患者を受け入れられる体制が整っています。</p> <p>へき地医療拠点病院としての役割も果たすため、公立小浜病院から遠く離れている地区には、巡回診療を行っている他、災害拠点病院として、災害時においても一定水準の医療を維持できる体制を構築するとともに、原子力災害に備え、放射線防護対策を施しています。</p> <p>また、小浜医師会と連携し、休日小児救急も行っており、小児科医や産婦人科医が充足していることで、小児医療や周産期医療の充実など安心して子育てができる環境が整っています。</p> <p>公立小浜病院と市内の開業医や診療所が連携して診断治療にあたる病診連携については、相互の協力体制ができており、市内一帯において、安心して診療を受けられるようになっています。</p> <p>こうした安心、安全な体制を充実していくことで、市民のニーズに応えていきたいと考えています。</p>